

小学校学習指導要領 [音楽科]

(平成20年3月28日告示)

新旧対照表

株式会社 教育芸術社

新学習指導要領 (下線部は新たに加えられた要素)	現行学習指導要領 (下線部は主な削除要素)
<p style="text-align: center;">第6節 音 楽</p> <p>第1 目標 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。</p> <p>第2 各学年の目標及び内容 〔第1学年及び第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) <u>楽しく音楽にかかわり</u>、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) 基礎的な表現の能力を育て、<u>音楽表現の楽しさに気付く</u>ようにする。</p> <p>(3) 様々な音楽に親しむようにし、<u>基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴く</u>ようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。 イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、<u>楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌う</u>こと。 ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。 エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、<u>声を合わせて</u>歌うこと。</p> <p>(2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範奏を聴いたり、<u>リズム譜などを見たりして演奏</u>すること。 イ 楽曲の気分を感じ取り、<u>思いをもって演奏</u>すること。 ウ 身近な楽器に親しみ、<u>音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏</u>すること。 エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、<u>音を合わせて演奏</u>すること。</p> <p>(3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 ア <u>声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊び</u>をすること。 イ <u>音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくる</u>こと。</p> <p>(4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。 ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び輪唱で</p>	<p style="text-align: center;">第6節 音 楽</p> <p>第1 目標 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。</p> <p>第2 各学年の目標及び内容 〔第1学年及び第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) <u>リズムに重点を置いた活動を通して</u>、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。</p> <p>(3) 音楽の<u>楽しさを感じ取って聴き</u>、様々な音楽に親しむようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 音楽を聴いて演奏できるようにする。 ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。 イ 階名で模唱や暗唱をしたり、<u>リズム譜に親しんだり</u>すること。</p> <p>(2) 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、<u>工夫して表現できるようにする</u>。 ア 歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現すること。 イ 拍の流れやフレーズを感じ取って、<u>演奏したり身体表現をしたり</u>すること。 ウ 互いの歌声や楽器の音、伴奏の響きを聴いて演奏すること。</p> <p>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。 ア 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。 イ 身近な楽器に親しみ、<u>簡単なリズムや旋律を演奏</u>すること。</p> <p>(4) 音楽をつくって表現できるようにする。 ア <u>リズム遊びやふし遊びなどを楽しみ、簡単なリズムをつくって表現</u>すること。 イ 即興的に音を探して表現し、音遊びを楽しむこと。</p> <p>(5) 表現教材は次に示すものを取り扱う。 ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の<u>3曲</u>を含めて、斉唱</p>

新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）	現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）
<p>歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、主旋律に簡単なリズム伴奏や低声部などを加えた楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>「うみ」 (文部省唱歌) 林柳波^{はやしりゅう は}作詞 井上武士^{いのうえたけし}作曲</p> <p>「かたつむり」 (文部省唱歌)</p> <p>「日のまる」 (文部省唱歌) 高野辰之^{たかの たつゆき}作詞 岡野貞一^{おかの ていいち}作曲</p> <p>「ひらいたひらいた」 (わらべうた)</p> <p>〔第2学年〕</p> <p>「かくれんぼ」 (文部省唱歌) 林柳波^{はやしりゅう は}作詞 下総皖一^{しもつきかみいち}作曲</p> <p>「春がきた」 (文部省唱歌) 高野辰之^{たかの たつゆき}作詞 岡野貞一^{おかの ていいち}作曲</p> <p>「虫のこえ」 (文部省唱歌)</p> <p>「夕やけこやけ」 中村雨紅^{なかむらうこう}作詞 草川信^{くさかわしん}作曲</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。</u></p> <p>ウ <u>楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。</u></p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア <u>我が国及び諸外国のわらべうたや遊びうた</u>、行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽、日常生活に関連して情景を思い浮かべやすい楽曲</p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、親しみやすい楽曲</u></p> <p>ウ <u>楽器の音色や人の声の特徴を感じ取りやすく親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲</u></p> <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。</p> <p>(ア) <u>音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素</u></p> <p>(イ) <u>反復、問いと答えなどの音楽の仕組み</u></p> <p>イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。</p>	<p>及び輪唱で歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、主旋律に簡単なリズム伴奏や低声部などを加えた楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>「うみ」 (文部省唱歌) 林柳波^{はやしりゅう は}作詞 井上武士^{いのうえたけし}作曲</p> <p>「かたつむり」 (文部省唱歌)</p> <p>「日のまる」 (文部省唱歌) 高野辰之^{たかの たつゆき}作詞 岡野貞一^{おかの ていいち}作曲</p> <p>「ひらいたひらいた」 (わらべうた)</p> <p>〔第2学年〕</p> <p>「かくれんぼ」 (文部省唱歌) 林柳波^{はやしりゅう は}作詞 下総皖一^{しもつきかみいち}作曲</p> <p>「春がきた」 (文部省唱歌) 高野辰之^{たかの たつゆき}作詞 岡野貞一^{おかの ていいち}作曲</p> <p>「虫のこえ」 (文部省唱歌)</p> <p>「夕やけこやけ」 中村雨紅^{なかむらうこう}作詞 草川信^{くさかわしん}作曲</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにする。</p> <p>ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ <u>リズム、旋律及び速さに気を付けて聴くこと。</u></p> <p>ウ 楽器の音色に気を付けて聴くこと。</p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 日常生活に関連して、情景を思い浮かべやすい楽曲</p> <p>イ 行進曲、踊りの音楽、身体反応の快さを感じ取りやすい音楽など、いろいろな種類の楽曲</p> <p>ウ 児童にとって親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲</p>

新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）	現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）
<p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。</p> <p>(3) 様々な音楽に親しむようにし、<u>基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。</p> <p>イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、<u>思いや意図をもって</u>歌うこと。</p> <p>ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。</p> <p>エ <u>互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて</u>歌うこと。</p> <p>(2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏すること。</p> <p>イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、<u>思いや意図をもって</u>演奏すること。</p> <p>ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p> <p>エ <u>互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて</u>演奏すること。</p> <p>(3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、<u>様々な発想をもって即興的に</u>表現すること。</p> <p>イ <u>音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。</u></p> <p>(4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び簡単な合唱で歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、簡単な重奏や合奏にした楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>「うさぎ」 (日本古謡)</p> <p>「茶つみ」 (文部省唱歌)</p> <p>「春の小川」 (文部省唱歌) <small>たかの たつゆき おかの ていいち</small> 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「ふじ山」 (文部省唱歌) <small>いわ や さきなみ</small> 巖谷小波作詞</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>「さくらさくら」 (日本古謡)</p> <p>「とんび」 <small>くずはら</small> 葛原しげる作詞 <small>やな だ ただし</small> 梁田 貞 作曲</p> <p>「まきばの朝」 (文部省唱歌) <small>ふなばしえいきち</small> 船橋栄吉作曲</p>	<p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) <u>旋律に重点を置いた活動を通して</u>、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。</p> <p>(3) <u>音楽の美しさを感じ取って</u>聴き、様々な音楽に親しむようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。</p> <p>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</p> <p>イ ハ長調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</p> <p>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。</p> <p>ア 歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫すること。</p> <p>イ 拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</p> <p>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>ア 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌うこと。</p> <p>イ 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p> <p>(4) 音楽をつくって表現できるようにする。</p> <p>ア 音の組合せを工夫し、<u>簡単なリズムや旋律をつくって</u>表現すること。</p> <p>イ 即興的に<u>音を選んで</u>表現し、いろいろな音の響きやその組合せを楽しむこと。</p> <p>(5) 表現教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の<u>3曲</u>を含めて、斉唱及び簡単な合唱で歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、簡単な重奏や合奏にした楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>「うさぎ」 (日本古謡)</p> <p>「茶つみ」 (文部省唱歌)</p> <p>「春の小川」 (文部省唱歌) <small>たかの たつゆき おかの ていいち</small> 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「ふじ山」 (文部省唱歌) <small>いわ や さきなみ</small> 巖谷小波作詞</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>「さくらさくら」 (日本古謡)</p> <p>「とんび」 <small>くずはら</small> 葛原しげる作詞 <small>やな だ ただし</small> 梁田 貞 作曲</p> <p>「まきばの朝」 (文部省唱歌) <small>ふなばしえいきち</small> 船橋栄吉作曲</p>

<p style="text-align: center;">新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）</p>	<p style="text-align: center;">現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）</p>
<p style="text-align: center;">「もみじ」 （文部省唱歌）^{たかの たつゆき} 高野辰之作詞 ^{おかの ていいち} 岡野貞一作曲</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア <u>曲想とその変化を感じ取って聴くこと。</u></p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。</u></p> <p>ウ <u>楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。</u></p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア <u>和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲</u></p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく、聴く楽しさを得やすい楽曲</u></p> <p>ウ <u>楽器や人の声による演奏表現の違いを感じ取りやすい、独奏、重奏、独唱、重唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲</u></p> <p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア <u>音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。</u></p> <p>(ア) <u>音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素</u></p> <p>(イ) <u>反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み</u></p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。</p> <p>(3) 様々な音楽に親しむようにし、<u>基礎的な鑑賞の能力を高め</u>、音楽を味わって聴くようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。</p> <p>イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、<u>思いや意図をもって</u>歌うこと。</p> <p>ウ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。</p> <p>エ <u>各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて</u>歌うこと。</p>	<p style="text-align: center;">「もみじ」 （文部省唱歌）高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを感じ取るようにする。</p> <p>ア 曲想の変化を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ 主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くこと。</p> <p>ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組合せを感じ取って聴くこと。</p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 音楽の要素及び音色の特徴を感じ取り、聴く楽しさを得やすい楽曲</p> <p>イ 劇の音楽、管弦楽の音楽、郷土の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲</p> <p>ウ 独奏、合奏を含めたいろいろな演奏形態による楽曲</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) <u>音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して</u>、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。</p> <p>(3) 音楽の<u>美しさ</u>を味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。</p> <p>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</p> <p>イ ハ長調及びイ短調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</p> <p>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。</p> <p>ア 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。</p>

新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）	現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）
<p>(2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏すること。</p> <p>イ 曲想を生かした表現を工夫し、<u>思いや意図をもって演奏すること。</u></p> <p>ウ <u>楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</u></p> <p>エ <u>各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。</u></p> <p>(3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア いろいろな音楽表現を生かし、<u>様々な発想をもって即興的に表現すること。</u></p> <p>イ <u>音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。</u></p> <p>(4) 表現教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の<u>3曲</u>を含めて、斉唱及び合唱で歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、楽器の演奏効果を考慮し、簡単な重奏や合奏にした楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>「こいのぼり」 (文部省唱歌)</p> <p>「子もり歌」 (日本古謡)</p> <p>「スキーの歌」 (文部省唱歌) 林柳波作詞 橋本国彦作曲</p> <p>「冬げしき」 (文部省唱歌)</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>「越天楽今様（歌詞は第2節まで）」(日本古謡) 慈鎮和尚作歌</p> <p>「おぼろ月夜」 (文部省唱歌) 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「ふるさと」 (文部省唱歌) 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「われは海の子（歌詞は第3節まで）」(文部省唱歌)</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 曲想と<u>その変化</u>などの特徴を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素のかかわり合い</u>を感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。</p> <p>ウ <u>楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表す</u>などとして、<u>楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。</u></p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア <u>和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわり</u>を感じ取りやすい音楽、<u>人々に長く親しまれている音楽など</u>、いろいろな種類の楽曲</p> <p>イ <u>音楽を形づくっている要素の働き</u>を感じ取りやすく、聴く喜びを深めやすい楽曲</p> <p>ウ <u>楽器の音や人の声が重なり合う響きを味わうことができる</u>、合奏、合唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲</p>	<p>と。</p> <p>イ 拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きを感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</p> <p>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>ア 呼吸及び発音の仕方を工夫して、<u>豊かな響きのある</u>、自然で無理のない声で歌うこと。</p> <p>イ 音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p> <p>(4) 音楽をつくって表現できるようにする。</p> <p>ア 曲の構成を工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること。</p> <p>イ 自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむこと。</p> <p>(5) 表現教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の2曲を含めて、斉唱及び合唱で歌う楽曲</p> <p>イ 主となる器楽教材については、楽器の演奏効果を考慮し、簡単な重奏や合奏にした楽曲</p> <p>ウ 共通教材</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>「こいのぼり」 (文部省唱歌)</p> <p>「子もり歌」 (日本古謡)</p> <p>「スキーの歌」 (文部省唱歌) 林柳波作詞 橋本国彦作曲</p> <p>「冬げしき」 (文部省唱歌)</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>「越天楽今様（歌詞は第2節まで）」(日本古謡) 慈鎮和尚作歌</p> <p>「おぼろ月夜」 (文部省唱歌) 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「ふるさと」 (文部省唱歌) 高野辰之作詞 岡野貞一作曲</p> <p>「われは海の子（歌詞は第3節まで）」(文部省唱歌)</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを味わうようにする。</p> <p>ア 曲想を全体的に味わって聴くこと。</p> <p>イ 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかかわりに気を付けて聴くこと。</p> <p>ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の重なりによる響きを味わって聴くこと。</p> <p>(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。</p> <p>ア 音楽の構成及び音や声の重なりによる響きの特徴を感じ取り、聴く喜びを深めやすい楽曲</p> <p>イ 歌曲、室内楽の音楽、<u>箏や尺八を含めた我が国の音楽</u>、諸外国に伝わる音楽など、いろいろな種類の楽曲</p> <p>ウ 独唱、合唱、重奏を含めたいろいろな演奏形態による楽曲</p>

新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）	現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）
<p><u>〔共通事項〕</u></p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。</p> <p>(ア) <u>音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素</u></p> <p>(イ) <u>反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み</u></p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) <u>第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫すること。</u></p> <p>(2) 第2の第5学年及び第6学年の内容の「A表現」の指導に当たっては、学校や児童の実態等に応じて、合唱や合奏、重唱や重奏などの表現形態を選んで学習できるようにすること。</p> <p>(3) 国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。</p> <p>(4) 低学年においては、生活科などとの関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。<u>特に第1学年においては、幼稚園教育における表現に関する内容などとの関連を考慮すること。</u></p> <p>(5) <u>第1章総則の第1の2及び第3章道徳の第1に示す道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道徳の第2に示す内容について、音楽科の特質に応じて適切な指導をすること。</u></p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) <u>各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽とかがわることができるよう、指導のねらいに即して体を動かす活動を取り入れること。</u></p> <p>(2) 和音及び和声の指導については、合唱や合奏の活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにすること。また、長調及び短調の楽曲においては、I、IV、V及びV7などの和音を中心に指導すること。</p> <p>(3) 歌唱の指導については、次のとおり取り扱うこと。</p> <p>ア <u>相対的な音程感覚を育てるために、適宜、移動ド唱法を用いること。</u></p> <p>イ 歌唱教材については、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて取り上げるようにすること。</p> <p>ウ <u>変声以前から自分の声の特徴に関心をもたせるとともに、変声期の児童に対して適切に配慮すること。</u></p>	<p>第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 第2の各学年の内容の「A表現」と「B鑑賞」との指導の関連を図るようにするとともに、それぞれに示す各事項の指導についても、相互に関連をもたせるようにすること。</p> <p>(2) 第2の第5学年及び第6学年の内容の「A表現」の指導に当たっては、学校や児童の実態等に応じて、合唱や合奏、重唱や重奏などの表現形態を選んで学習できるようにすること。</p> <p>(3) 国歌「君が代」は、いずれの学年においても指導すること。</p> <p>(4) 低学年においては、生活科などとの関連を図り、指導の効果を高めるようにすること。</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 歌唱の指導における階名唱については、移動ド唱法を原則とすること。</p> <p>(2) 和音及び和声の指導については、合唱や合奏の活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにすること。また、長調及び短調の楽曲においては、I、IV、V及びV7を中心に指導すること。</p>

新学習指導要領（下線部は新たに加えられた要素）

- (4) 各学年の「A表現」の(2)の楽器については、次のとおり取り扱うこと。
 ア 各学年で取り上げる打楽器は、木琴、鉄琴、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、演奏の効果、学校や児童の実態を考慮して選択すること。
 イ 第1学年及び第2学年で取り上げる身近な楽器は、様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなどの中から学校や児童の実態を考慮して選択すること。
 ウ 第3学年及び第4学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、リコーダーや鍵盤楽器などの中から学校や児童の実態を考慮して選択すること。
 エ 第5学年及び第6学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、電子楽器、和楽器、諸外国に伝わる楽器などの中から学校や児童の実態を考慮して選択すること。
- (5) 音楽づくりの指導については、次のとおり取り扱うこと。
 ア 音遊びや即興的な表現では、リズムや旋律を模倣したり、身近なものから多様な音を探したりして、音楽づくりのための様々な発想ができるように指導すること。
 イ つくった音楽の記譜の仕方について、必要に応じて指導すること。
 ウ 拍節的でないリズム、我が国の音楽に使われている音階や調性にとらわれない音階などを児童の実態に応じて取り上げるようにすること。
- (6) 各学年の〔共通事項〕のイの「音符、休符、記号や音楽にかかわる用語」については、児童の学習状況を考慮して、次に示すものを取り扱うこと。

。 ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ 五線と加線 | ||

♯ ♭ ㇏ *f* *mf* *p* *mp* ∨
(プレス)

$\frac{2}{4}$ $\frac{3}{4}$ $\frac{4}{4}$ $\frac{6}{8}$ < >

||: || 1. || 2. ||
(反復記号) (反復記号)

㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ♩=96
(タイ) (スラー) (アクセント) (スタッカート)

現行学習指導要領（下線部は主な削除要素）

- (3) 各学年の「A表現」の(3)の楽器については、次のとおり取り扱うこと。
 ア 各学年で取り上げる打楽器は、木琴、鉄琴、我が国や諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、演奏の効果、学校や児童の実態を考慮して選択すること。
 イ 第1学年及び第2学年で取り上げる身近な楽器は、様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなどの中から児童の実態を考慮して選択すること。
 ウ 第3学年及び第4学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、リコーダーや鍵盤楽器などの中から児童の実態を考慮して選択すること。
 エ 第5学年及び第6学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、電子楽器、我が国や諸外国に伝わる楽器などの中から児童の実態に応じて選択すること。
- (4) 各学年の「A表現」の(4)に示す事項については、児童が個性的な発想を生かした表現を工夫し、様々な響きを直接経験するようにすること。また、必要に応じて記譜の指導をすること。
- (5) 音符、休符、記号などについては、次に示すものを、児童の学習状況を考慮して、表現及び鑑賞の活動を通して指導すること。

。 ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

五線と加線 | || ♯ ♭ ㇏ *f*

mf *p* *mp* $\frac{2}{4}$ $\frac{3}{4}$ $\frac{4}{4}$ $\frac{6}{8}$ 反復記号

< > タイ スラー ㇏ (スタッカート)

㇏ (アクセント) ♩=96

- (6) 歌唱教材については、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを取り上げるようにすること。